

第1回国有林モニターアンケート 結果概要

北海道森林管理局では、開かれた「国民の森林」の実現に向け、国民の皆様の意見等の的確な把握とそれらの意見を反映した管理経営の推進のための取り組みの一つとして国有林モニター制度を設けています。

平成23年5月に第1回国有林モニターアンケートを実施したところ、67名中63名の方に回答をいただきました。ご協力いただいたモニターの皆様方、ありがとうございました。

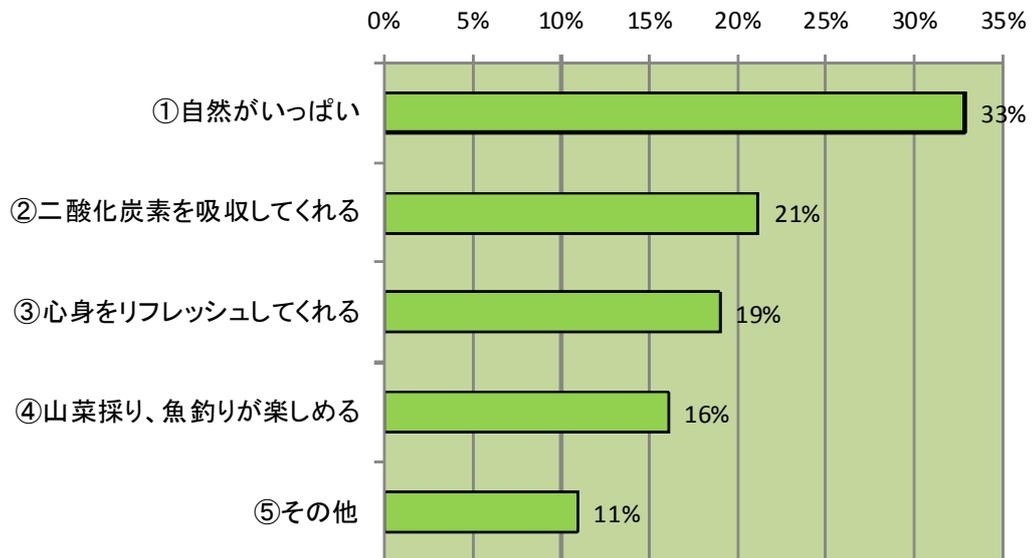
この度、アンケートの結果がとりまとまりましたので、報告いたします。なお、自由意見は抜粋して掲載しております。

<質問項目>

1. 「北海道の森林」について
2. 「北海道森林管理局」について
3. 国有林モニターについて

1. 「北海道の森林」についてお伺いします

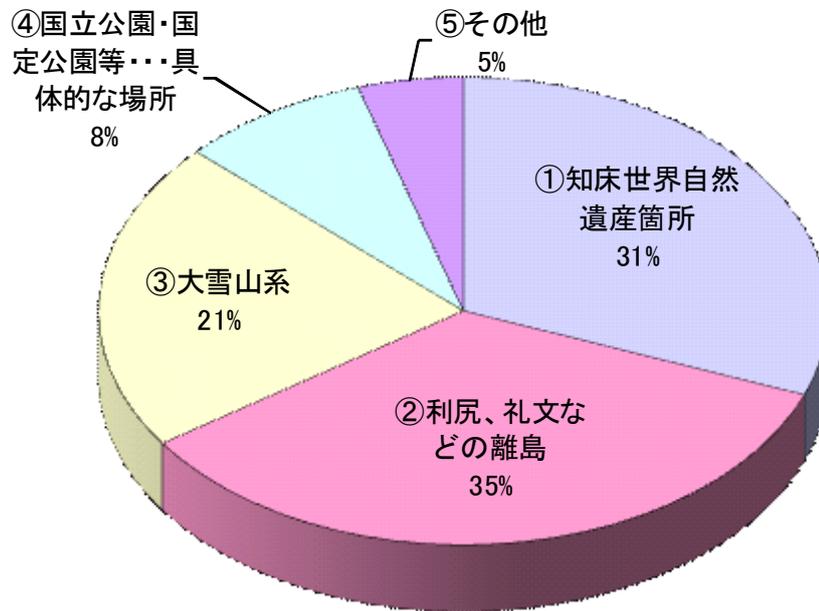
北海道の森林に対しどのようなイメージがありますか。(複数回答可)



(「その他」の具体的内容)

- ・ 森林の有意義な多面性に親しみを覚える。
- ・ 希少な動植物が生息している。
- ・ 水道の水源。
- ・ 北海道の森林が年々減少しているという印象を持っている。
- ・ 森林がすぐそばにある風景はあたりまえと思っていた。
- ・ 熊がいる。

北海道の森林で行ってみたいところがありますか。(複数回答可)



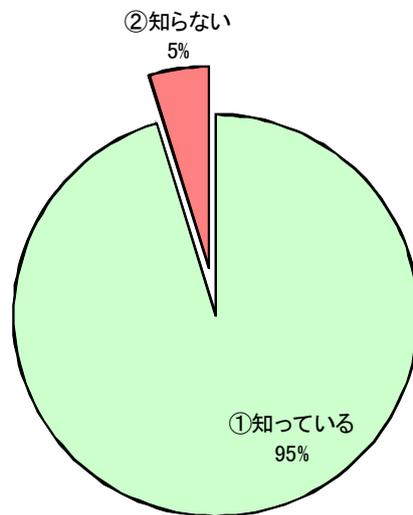
(「国立公園・国定公園等・具体的な場所」の内容)

- ・ 阿寒、オンネトー湖
- ・ 日高山系
- ・ 支笏・洞爺国立公園
- ・ 定山溪

(「その他」の具体例)

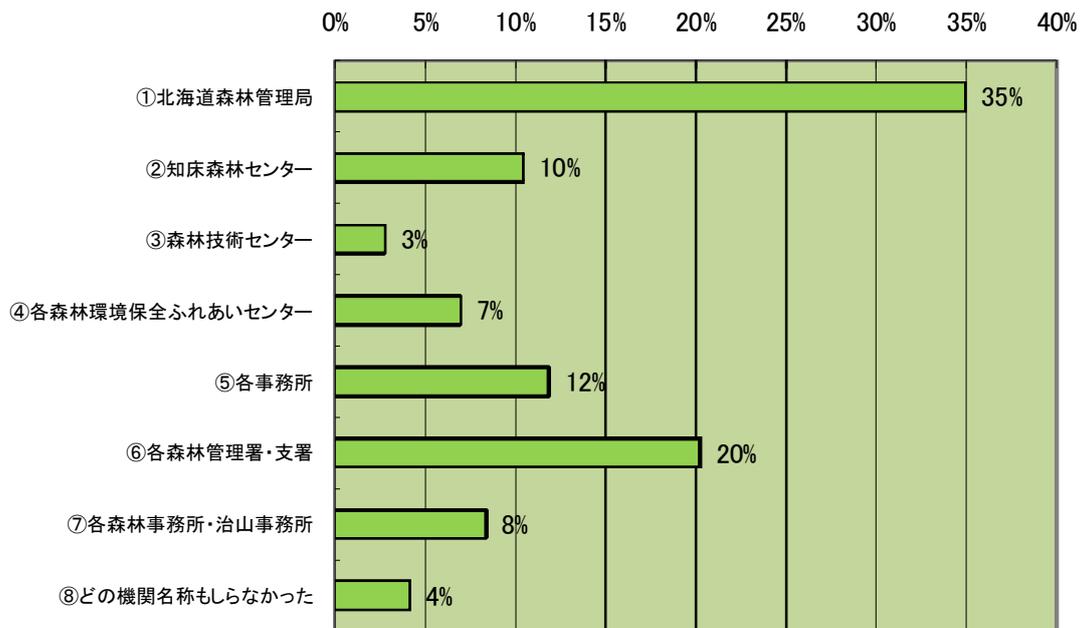
- ・ 黒松内町の北限のブナ林
- ・ 観光地化していない森林
- ・ 活用されている里山
- ・ 社有林

北海道の森林には、国が管理している国有林、北海道が管理している道有林、大学が管理している演習林、市町村が管理している市町村有林、民間企業、個人が管理している私有林があることをご存じでしたか。

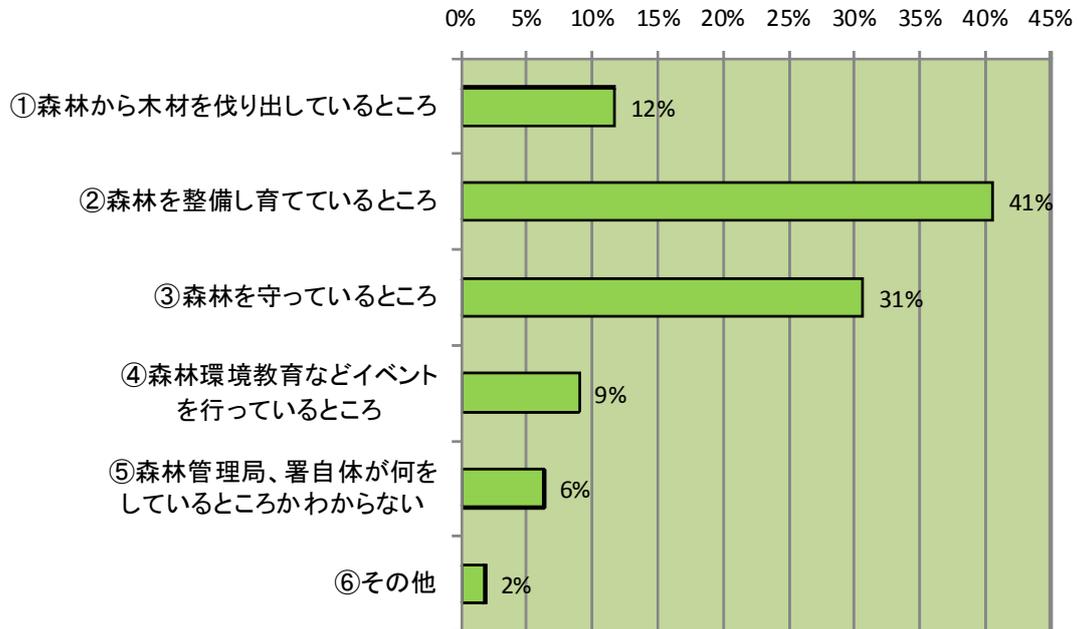


2. 「北海道森林管理局」についてお伺いします。

北海道森林管理局の組織に属する機関として次の組織がありますが、皆様がモニターになる前からご存じの機関をお選びください。(複数回答可)



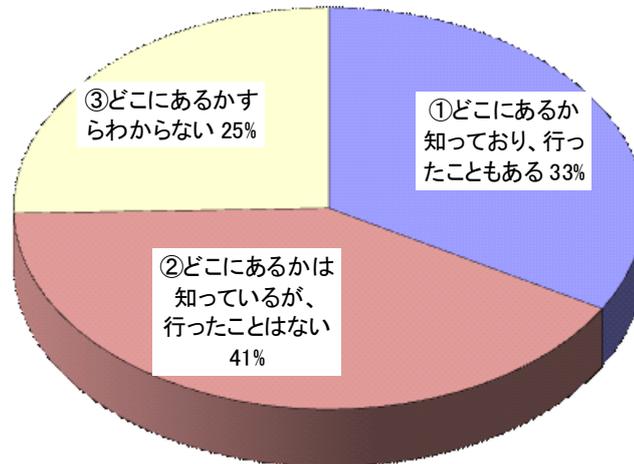
北海道森林管理局、森林管理署のイメージを率直にお答え下さい。(複数回答可)



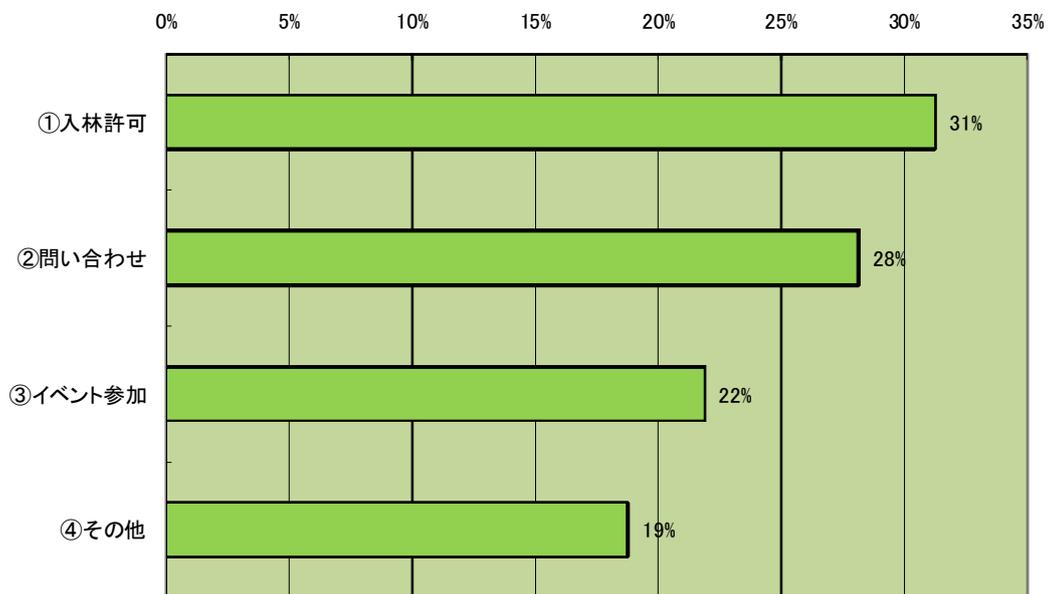
(「その他」の具体的内容)

- ・ 昔の営林署のイメージが強く、小さな町にもありました。
- ・ 生産林、環境林等多様な目的がある。

北海道森林管理局、または地元の森林管理署などがどこにあるか知っていますか。また行ったことがありますか。



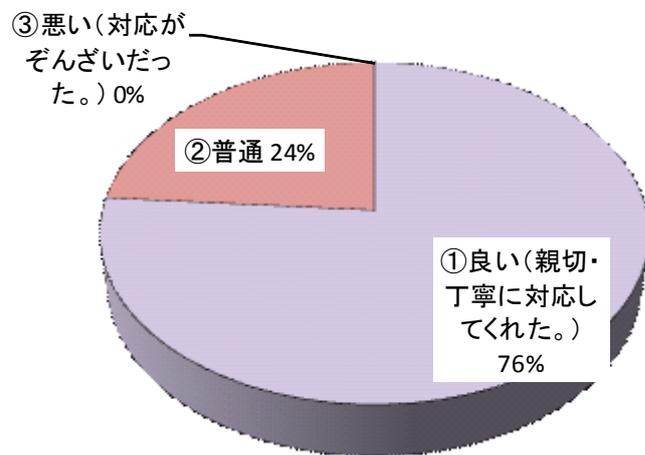
あると答えた方、どのような事由で行かれましたか。(複数回答可)



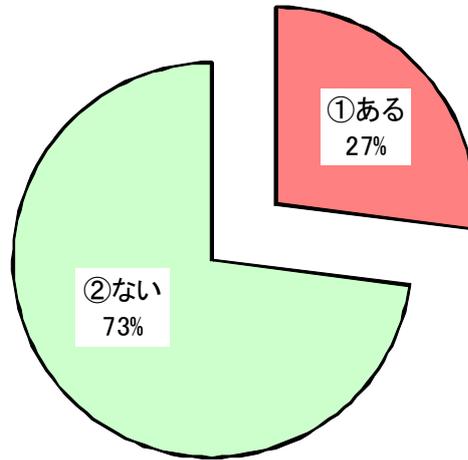
(「その他」の具体的内容)

- ・ 樹種別、蓄積量の調査、特にイタヤカエデ、マカバ、アカエゾマツ等
- ・ 治山、森林保護事業の依頼
- ・ 講演の依頼

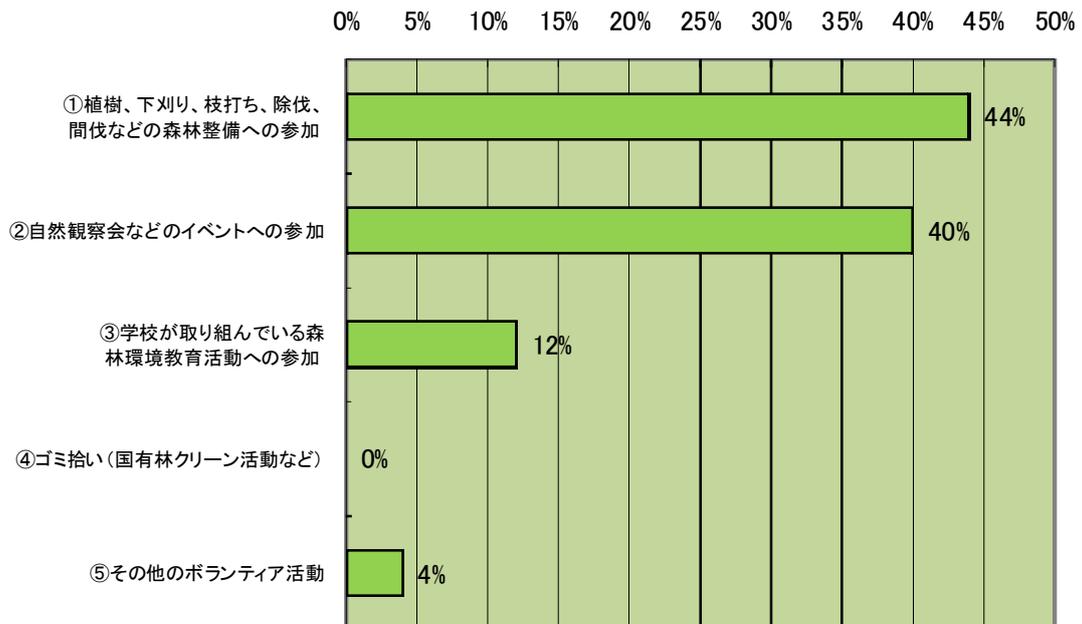
あと答えた方、職員の対応についてお伺いします。



今までに北海道森林管理局、森林管理署等が開催してきたイベントに参加したことがありますか。

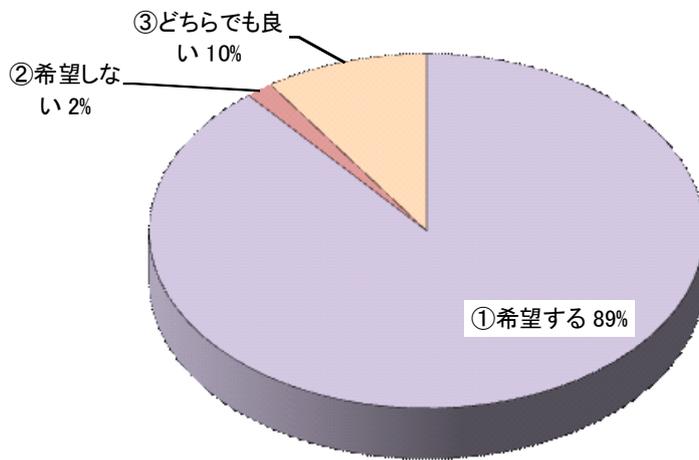


参加イベントは何でしたか。(複数回答可)

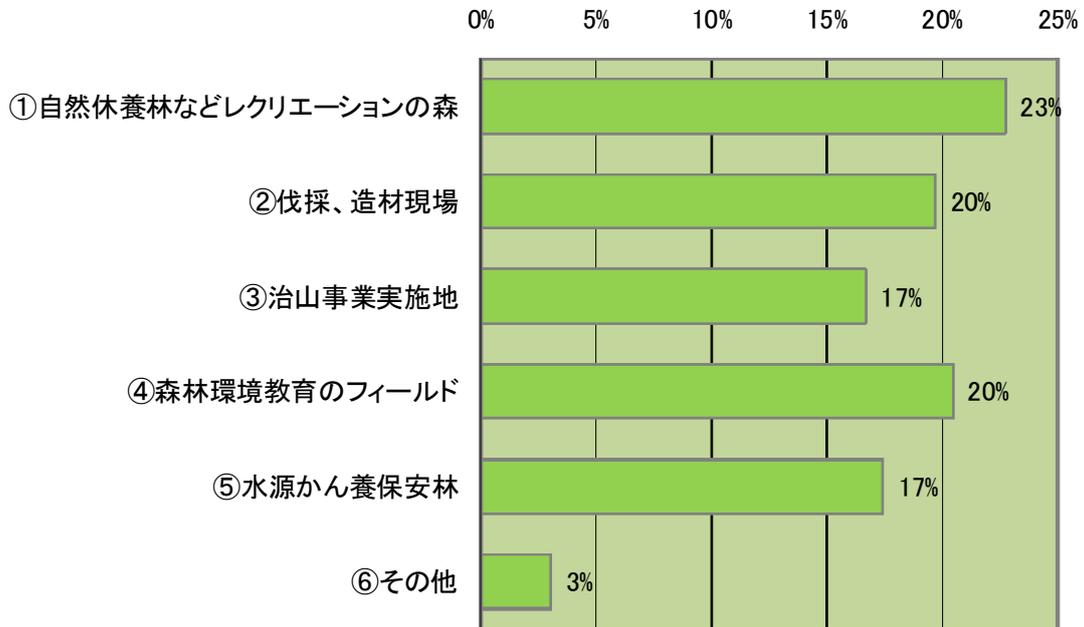


3. 国有林モニターについてお伺いします。

国有林モニターとして、国有林の現地を視察することを希望しますか。



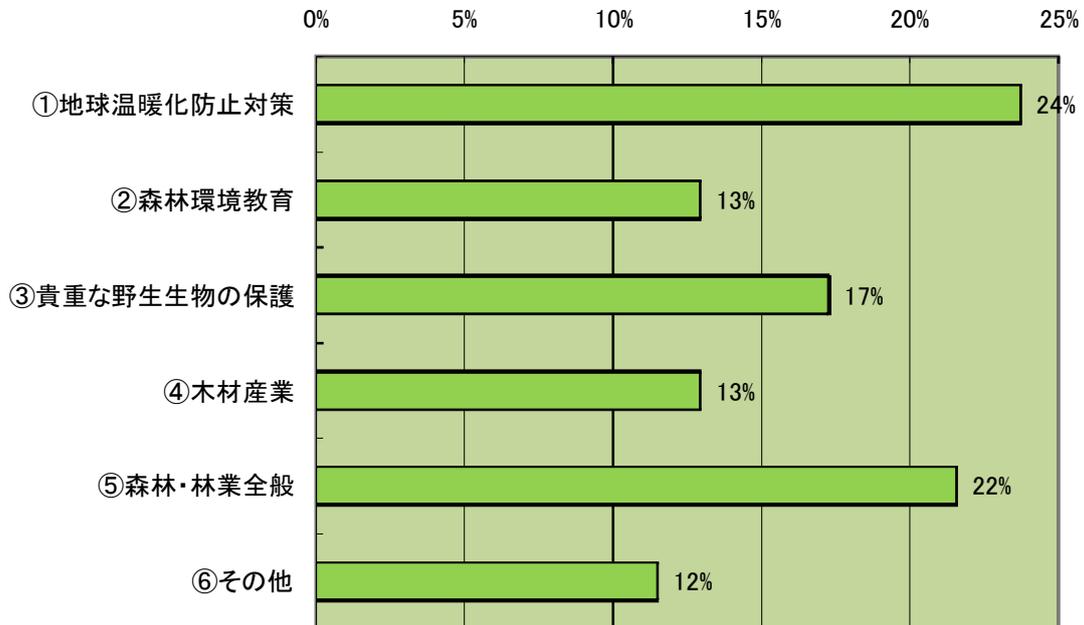
希望すると答えた方、どの様な国有林の現地視察を希望しますか。
(複数回答可)



(「その他」の具体的内容)

- ・ 国有林管理、経営をしている様はわかります。そこで多様な森林の活用例 (例えば観光、治水、植林など) 実践しているところがあればお願いしたい。自己負担でもよいので1日もしくは一泊コースで案内して欲しい。
- ・ 自然林の面影を残した森林。良く手入れされた人工林。
- ・ 生物多様性取り組みモデル地域

森林・林業に興味を持っていることはなんですか。(複数回答可)



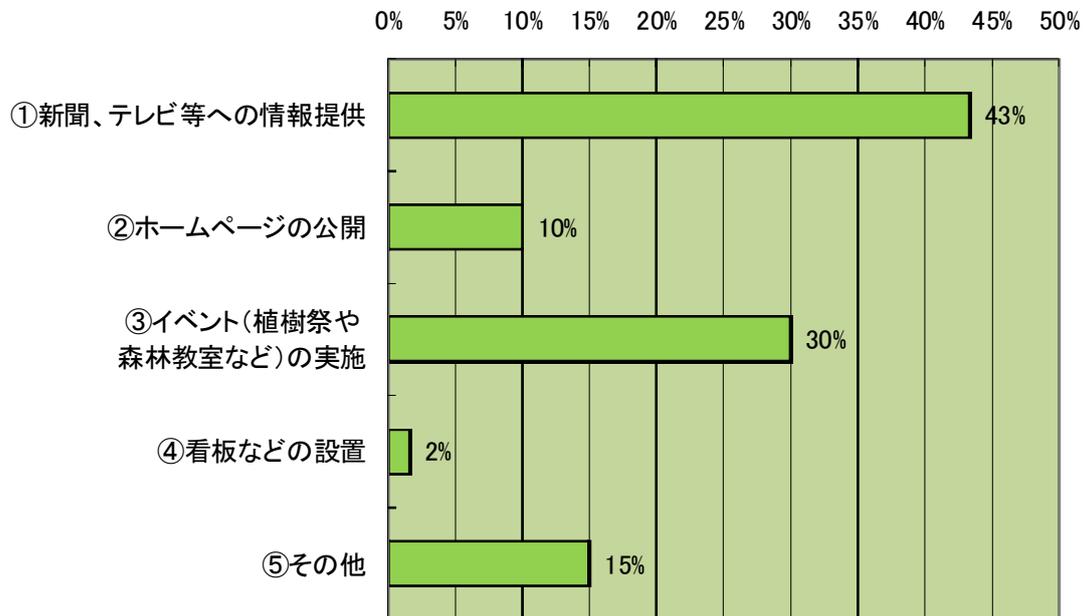
(「その他」の具体的内容)

- ・ エゾシカの食害
- ・ ペレットストーブ
- ・ 林業分野における雇用の拡大。またそれによる自然保護。
- ・ この1、2年「外国資本」による私有林等の買収が行われていると報じられています。
- ・ 人工林は針葉樹の割合が多いので、これからは広葉樹を増やすことも考えた方が良いでしょう。
- ・ 生物多様性の保全
- ・ 豊かな森林を作れば川の水も豊富になります。北海道は山に囲まれ、この立地条件を生かし、水力発電所を造って大いに利用すべきだと思います。
- ・ 戦後の植林政策のおかげで北海道には成長した木がたくさんあり利用を待っている。これを好機と受け止め北海道の木材産業を伸展させる施策を立てるべきと思う。

林野庁や森林管理局・森林管理署（支署）に関する新聞記事、テレビ報道等について、印象に残っている内容（良い印象、悪い印象のどちらでも結構です。）があれば、その記事、報道の具体的内容（ご記憶があれば市町村名あるいは地域名、森林管理局・森林管理署名の記載もお願いします。）とそれに対するご意見、ご感想をお書き下さい。

- ・ 4/16付夕刊記事の「日本の林業」で、北海道は他に対して森林が多い庁で、管理が大変苦労していることが理解できた。
- ・ 「美しい森林づくり推進国民運動」のパンフレットにふれる機会があり、非常に分かりやすく見やすい内容となっている。
- ・ エゾシカ対策で国有林林道除雪。
- ・ 5月初めに道新に載っていた記事ですが、林野庁で東日本大震災からの復興へのまちづくりで海岸林を津波軽減に活用する方針とありました。是非計画倒れにならないで実行して欲しいものだと思います。
- ・ 森林開発公団の理事が追求自殺したこと。
- ・ 森林管理署（支署）等の職員の減員のためか、机上作業が多く、現地現場の確認がされなく、毎年のように違法伐採問題が発生しています。問題発生後の処理も公になっていません。数百年も育った大木が違法に切り倒された後の事が私は知りたいと思います。
- ・ 過去にあった盗伐事件における林野庁OBの関与。
- ・ 森林管理局、森林管理署等が新聞記事になったりテレビ報道される事が何かあるのですか？あるとすればどういうことで報道されているのか、モニター員として知りたい。
- ・ 合鍵を使った登山で事故があり昨日報道（今後の取扱い）がありました。重要な箇所では鍵をこわす、ゲートの回りから入り込みがあると思います。監視カメラの設置そして告発を行い、マスコミに発表して国民の資源を守っているとの姿勢を見せることが国有林管理者に求められていると思います。

北海道森林管理局の取組を広く知ってもらうために最も有意義な手段だと思うものを選んで下さい。(複数回答可)



(「その他」の具体的内容)

- ・ 取組みを広く知らせることは大事ですが、ポピュリズムに陥ってはいけないと思います。
- ・ 小・中学生向けの森林教育と体験。
- ・ 知床では有料で植樹を行っています。国有林でも有料で植樹会を行ってもいいと思います。更に一歩進んで有料(植樹会に参加しないで)で平成23年度の森、平成24年度の森等全国あちこちに出来るのではと思います。
- ・ 原油から木材利用へのキャンペーンを大々的に実施すべきだし、将来的に森を育て木材を利用して北海道のエネルギー源とする方向性が正しいと思う。(ペレットストーブ、ペレットボイラー)一般の家庭でもペレットストーブを安価で販売し、ペレットも今の半分程度まで価格を下げ、灯油よりも断突に有利な状況にすれば広まる。
- ・ 5/4は「みどりの日」ですが国民(道民)がどの程度知ってるか疑問である。
- ・ 比較的若い人はPCを持っており、HPで見ることは可能だが興味が薄い。インターネットが見られない方も多いので、身近な情報提供が必要に思います。
- ・ これからの子供達に自然教育を国有林、大学所有林をとおして学んでもらうことが将来的に有効だと思います。

このほか、国有林に対してご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書き下さい。

- ・ 森林管理、国有林など”お堅いイメージ”があるのでもっと北海道民が「入り込みやすい」森林づくりやイベントの提案があればいいと思います。
- ・ 国道や一般人の目に入る森林は非常にりっぱに見えますが、奥に入ると木を切りすぎていると思っています。
- ・ 国有林といえども比較的利便性のある場所を活用し、民間に委託して経済的に利用できませんか。例えば食性のあるもの（クルミ、クリ、シイタケ等）
- ・ 地球の温暖化を防ぎ日本の国土保全を担う、今後の活動に期待しています。木材が豊かにあるのに、海外材におされがちな現状を改善し、雇用の創出や地域経済の活性化につなげて頂きたいと思います。
- ・
 1. 国有林・道有林・民有林の区別なく森林行政を考えるべき
 2. 育てる林業、せまい日本、あそんでいる土地があったら利用しましょう！植林しましょう！
 3. 林学の復活（大学で林学を学んだ人が森林局の事務職をしているのはもったいない。）
- ・ 林業における雇用の創出は林野庁だけでできるものでもなく、多角的な視野に立って考えるべき問題と思います。
- ・ 自然は保護するだけではいけません。里山的な人と地域の協働する場所として国有林は出るべきでそれはやはり地域に住む人々の愛着が一番と思います。
- ・ 今春、根釧東部森林管理署管轄、春苅古丹川でおこなったエゾシカ生体保護実験であるが、業者の選定から、方法、専門機関との連携を含め、問題があるように思われた。大きな成果があげられなかったが、これは一連の準備不足が原因と考えられる。「エゾシカの生態」を理解した上で今後は実施して頂きたい。
- ・ 違法伐採、貴重種の盗掘には気をつけて欲しい。また個人的には花粉症を起ししやすい杉や白樺などの植林は控えめにしたいです。
- ・ 林野庁のHPの内容の深さに感銘を受けました。特に最新の森の風景や動植物の画像に感動した次第です。多くの方がこのHPを見ることにより「森を歩く」の国内テーマが達成されるのではないかと思います。本ネット閲覧へのPRを積極的に行って頂きたいと考えます。
- ・ 「木材を消費することは森林の伐採による森林破壊に継がるので、木材の消費は悪である」という世の中の誤った考え方や風評を是正して欲しい。
- ・ 森林行政の検証結果が書物（Ex:「林業再生最後の挑戦」や「21世紀を森林の時代に」）でしか知る事ができないのは残念。即ち、情報が手元に届かないから国民は興味を持たないのでは。
- ・ 人が入れば自然に影響がありますが既に多くの方がハイキングや山菜採りにと森に入っていますし、自然林が減って管理が必要だと聞いています。そこで上手にバランスを取り利用をコントロールする事が大切だと思います。

まとめ

このアンケートはモニターの皆様が、北海道の森林や北海道森林管理局、また森林管理局が行っているイベントや情報発信のあり方についてどのようにお考えになっているかを調査するために実施しました。

北海道の森林については、「自然がいっぱい（33%）」という意見が最も多く、動植物の生息地や水源となっている印象をお持ちのようでした。

北海道森林管理局及び森林管理署のイメージについては「森林を整備し育てているところ（41%）」が最も多く、次いで「森林を守っているところ（31%）」が多かったです。しかし、4割強の方が森林管理局が「どこにあるかは知っているが、行ったことはない」、また25%の方が「どこにあるかすらわからない」と回答されました。

北海道森林管理局等が開催してきたイベントに参加されたことがある方は27%で、植樹、下刈等などの森林整備や自然観察会への参加が多かったです。

森林・林業に興味を持っていることについては「地球温暖化防止対策（24%）」が最も多く、森林の持つCO2吸収能力について関心が高いことがうかがわれました。またエゾシカの食害や外国資本による私有林の買収に関心がある方もいらっしゃいました。

森林管理局の取組を広く知ってもらうための有効な手段としては「新聞、テレビ等への情報提供（43%）」や「イベントの実施（30%）」が多く挙げられました。

このほか、国有林に対してたくさんのご意見やご要望をいただきましたが、今後の管理運営を行っていく上での参考にしていきたいと思います。

ご協力いただきましたモニターの皆様には心より感謝申し上げます。